



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成30年3月1日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第191号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなきちさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 根戸小学校で Abi-ICT を活用した授業を実施したうなー！

2/27(火)に、根戸小学校の6年生の教室で情報モラル教育の授業を実施し、その様子を Abi-ICT の観点で参観しました。

Abi-ICT は、情報機器の使い方だけではなく、情報モラル教育を通じてコミュニケーション力や豊かな心の育成を図るためのカリキュラムです。今回は、メールの使い方を考えることにより、友達との適切なコミュニケーションのとり方等について考えました。

### 根戸小学校で Abi-ICT を活用した授業を実施しました！

#### ☆目指す15歳の子ども像

「自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども」



#### ○今回の授業（特別活動）でつけさせたい力

「コミュニケーション力」、「豊かな心」

6年生が、携帯電話の適切な使い方について学習しました。

まず、クラスの中に携帯電話を持っている人は何人いるか、という質問を導入として学習が始まりました。根戸小の6年生のクラスでは、自分用の携帯電話を持っている児童が、大多数を占めることがわかり、その人数は一般的な小学生の携帯電話所有率よりも高いことに気づきました。



そして、「正しい携帯電話の使い方について考えよう」という学習課題について、映像教材を活用して、子ども達は考えました。

#### 子ども達の学習中の意見の一部を紹介します！

- 映像の主人公達は、夜遅くまでメールをしてしまったことがいけなかったと思いました。「早くメールを返さないといけない」と思い込んでしまったことが原因だと思いました。
- 映像の主人公は、携帯電話に心当たりのない不審なメールが届いた時に、一人で悩まずにお家の人に相談すべきだと思いました。
- トラブルに巻き込まれないようにするには、お家の人と携帯電話を使う際のルールを決めればいいと思いました。そして、そのルールや使用状況を友達にも事前に知らせておけば、返信が遅い等の誤解を与えることもないと思いました。

現代社会に生きる子ども達を取り巻く環境は、急激に変化しています。携帯電話やスマートフォン等の正しい活用の仕方を学ぶことは、友達と適切なコミュニケーションをとり、良好な関係を築くために不可欠です。  
Abi-ICT は、小中学校の9年間で計画的に情報モラル教育を実施するための一助となるうなー！

